

こども発達センターにおける専門相談の状況

表1

発達障害児専門相談開始 (H20)

		18年度	19年度	20年度
新規 相談	発達障害児専門相談			72
	知的または運動発達の遅れ・発達障害の相談窓口	220	186	201
	計	220	186	273

表2

	18年度	19年度	20年度
言語心理指導・専門相談	454	404	473

* 言語心理指導・専門相談のうち、6割程度が発達障害の傾向を有すると推察される。
(こども発達センターでは、確定診断は行っていないため)

	21年度	21.7.30	20年度	19年度	18年度	17年度
言語心理指導・専門相談	454	352	432	404	454	396
発達障害児グループ指導(20年度開始)	48	44	41			
たんぽぽ園(1歳児～5歳児)			126	160	127	119
リハビリテーション						
学齢児	0	0	68	103	119	104
言語心理指導・専門相談登録児数 合計 (+ + +)			667	667	700	619

こども発達センター療育対象幼児(3歳・4歳・5歳)数は・・・(3歳・4歳・5歳の幼児数)×8.4%×60%
 = + + のたんぽぽ園の3歳・4歳・5歳児は40名,+今後の需要
 リハビリテーションの3歳・4歳・5歳児は、 と に含まれます。

- 3 8.12の資料で、新規相談のH20年4 - 7月(87件)とH21年4 - 7月(92件)の5.7%の伸びは、 + の伸びと同じなのでしょうか？
 (財政課に出した資料では、 + の予測を5%の伸びとしているため。)

伸びは同じです。財政課への資料では、5.7%の伸びを5%と小数点以下を切り捨てた。

- 4 8.11の資料の登録児数と言語心理相談・指導登録児数の差は何でしょうか？

	H17	H18	H19	H20
登録児数	671	765	684	744
言語心理相談・指導登録児数	619	700	667	667

登録児数と言語心理相談・指導登録児数の差は、リハビリテーションのみの登録児数です。